

衆議院議長 殿
参議院議長 殿

リニア新幹線で南アルプスの自然を壊さないでください

南アルプスは、日本を代表する優れた自然の風景地として国立公園に指定され、「ユネスコエコパーク＝生物圏保存地域」に国内で6番目に登録されています。JR東海は自然豊かな山岳地帯を、トンネルで貫通させるリニア新幹線の建設を推し進めています。

リニア新幹線計画は、山梨県、長野県、静岡県にまたがる南アルプスの山岳地帯で中央構造線をはじめ、無数の活断層の中を横切ります。ここは、年間4ミリの隆起を続けていて、稜線から1400メートルの下にトンネルを貫通させることは、安全対策上の面からも専門家から危惧する声があげられています。

南アルプスは、貴重な山岳自然の宝庫ともいえる場所であり、日本の国土の生物多様性を支える、いわば屋台骨としての役割を果たしている大井川源流の山岳地帯です。この地域がトンネル掘削工事に伴う河川への減水（大井川水系では毎秒2トンの減水）、トンネル掘削によって排出される残土処理、10数年以上にも及ぶ工事の騒音、工事のための作業員700名が常駐する宿舎が建てられる問題等、工事に伴う南アルプスの自然環境への影響は計り知れないものがあります。

リニア新幹線計画は、日本のなかでも貴重で豊かな山岳自然を破壊する行為につながると同時に、日本のエネルギー政策の将来にも大きな禍根を残すことにもなり、国民的な議論が必要なものです。

日本勤労者山岳連盟は、山岳自然との共生を求めていくために独自に「労山自然保護憲章」を制定し、「山岳での開発動向に関心を持ち、利便性にかたよることなく、事実にもとづいた判断で自然がそこなわれないよう努める」ことを掲げ活動しています。その理念や観点に基づき下記の事項について要請します。

記

1、南アルプスの自然環境保全と沿線住民の生活環境の保全などの立場から、リニア新幹線計画の凍結、見直しを求めます。

2、リニア新幹線計画は、日本のエネルギー政策の将来にも大きな禍根を残すことから、凍結・見直しを求めます。

年 月

取扱い団体 日本勤労者山岳連盟
〒162-0814 東京都新宿区新小川町5-24
電話 03-3260-6331 F A X 03-3235-4324
E - m a i l jwaf@jwaf.jp

《リニア新幹線で南アルプスの自然を壊さない要請に賛同する署名》

氏 名 住所*都道府県からご記入ください

| | | |
|----|--|--|
| 1 | | |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |
| 6 | | |
| 7 | | |
| 8 | | |
| 9 | | |
| 10 | | |

この署名は個人情報保護法に基づいて使用し、記載された目的以外には使用しません。

取扱い団体

勤労者山岳連盟 団体名
